所報

島根県教育庁
隠岐教育事務所
隠岐の島町港町塩口24
電話2-9772

研究授業を「自分ごと」に

一年の内でこの二学期は、校内研究や年次研修に伴う公開授業などが最も盛んに行われる時期です。今年度も多くのご依頼をいただき、先生方の授業づくりの伴走者として関わらせていただいています。

校内研究を推進するにあたり、研究主任の先生方とよく協議をします。その際、最も熱く語り合うのが、次の二点です。

①公開授業や研究協議を、参加した先生方全員が「我がこと・自分ごと」として捉え、翌日からの授業改善につなげるにはどうすればよいか。

②研究授業を「苦しいもの」ではなく、「やってよかった。」と思える機会にするにはどうすればよいか。

私自身、教職に就いたばかりの頃を振り返ると、研究協議は、意味のわからない専門用語が飛び交う、苦しい場でした。「自分に話が振られたらどうしよう」と怖くなり、ずっと下を向いていた苦い記憶があります。

しかし、本来の研究協議は、そうした場ではないはずです。すべては、「子供たちが目を輝かせて、学びを進められるようにするため」にあります。全教員で子供への関わり方や理解を深め合える、そんな温かく前向きな機会にしたいと強く願っています。

ある学校では、研究授業や協議会を「自分ごと」にするために、次のような素晴らしい工夫をされています。

明日の授業宣言

公開授業や協議会での話合いを経て、「自分は明日から授業をこのようにアップデートする」という具体策を言語化する。その宣言を職員室壁面に掲示し、いつでも誰でも意識できるように共有しておく。

研修での気づきや学びも、多忙な毎日の中ではつい薄れてしまいがちです。しかし、「教員が学びを止めないこと」が、子供達が主体的・対話的で深い学びへ踏み出す第一歩なのではないでしょうか。

子供たちは、私たち教員の姿をよく見ています。そして、ひた向きに学び続ける大人の姿も、確実に届いています。私たち教員こそ、子供達と共に学び、成長し続ける存在でありたいものです。

下半期に入りましたが、引き続き、先生方の授業づくりをサポートして参ります。

（濱田貴士）

令和九年度 教職員人事異動について

人事異動は、学校の教育活動を一層清新活発にし、本県教育の進展に資することを目標としています。教職員の今後の生き方や在り方に大きく影響する大切な節目でもあり、多様な勤務経験の積み上げは、資質・能力の向上と密接に関連しています。そのため、一人ひとりが島根県教育委員会人事異動方針細則（以下、細則）を理解し、中・長期的な見通しを持ち、教職員としての一層の成長を促すための適切な赴任計画の検討をお願いします。

昨年度と変わらず隠岐教育事務所としては、島前・島後間　人事交流の促進が重要な課題であると捉え、改善を図ります。健康状態や家族の状況等、特別な事情について可能な限り配慮をしていましたが、あくまでも「妥当性」と「公平性」を基本とする必要があります。加えて、本県及び管内教育の現状や各学校の組織状況等あらゆる実情を踏まえた上で総合的に調整していく必要があり、妥当性のない自己都合等については、考慮できません。皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

以後は、細則に基づき策定した隠岐教育事務所の人事異動方針です。ご確認ください。

隠岐教育事務所　人事異動方針

令和九年度隠岐教育事務所管内の人事異動は、以下の方針により厳正に行う。

Ⅰ　教育職員

①広域的な視野に立ち、学校の教員組織が適正なものとなるよう配慮する。

②学校の課題解決と充実した教育活動推進のため、適任者を配置する。

③特別支援教育の推進を図るため、適任者を配置する。

④前記の方針に基づき、数年後を見越した人事交流（島前島後間交流、小中県立学校間の交流）を適正に行うとともに初任者の配置に配慮する。

Ⅱ　事務職員



①学校の実情と事務職員の育成を考慮し、適切な配置に配慮する。

②事務グループ活動等の充実のため、見通しをもった配置にする。

教育発展のために

先日、海士町で隠岐教研海士大会に参加させていただきました。変化が大きく多忙な教育界の中で、教育課程柔軟化サキドリ研究に挑戦したり、子供たちの主体的な学びの実現にチーム学校として取り組んだりする先生方の姿に感動しました。大会要項（大会趣旨）にあったように、将来の予測が困難な時代だからこそ子供たちに様々な力を育むことは学校の責務です。率先して挑戦する先生方の姿を子供たちは見てて、たくさんのことを学んでいることと思います。

これからの人事異動についても、予測のできない事が出てくると予想されます。しかし、様々な地域、学校での経験の積み上げが先生方の資質・能力を向上させ、それが子供たちの様々な力の育成につながると信じています。「島根の、隠岐の子供たち」のために、細則に則った赴任計画をお願いします。

（新谷慎太郎）



